

# 第27期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。ごさいます。

第27期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

2023年度上半期における我が国の経済動向は、コロナ禍期間中に生活容態となっていた行動制限も大きく緩和され、雇用や所得環境の改善等が図られる中で正常化が進み、回復基調となりました。しかし、円安影響もあり、資源高や物価高によるインフレや人手不足の問題が顕在化し、減速の要因となりました。一方、回復しつつあった世界経済におきましても、ロシアによるウクライナ軍事侵攻の長期化による影響や中国経済の先行き懸念等もあり、また、金融引き締めによる景気下振れリスクもあって、回復の鈍化が懸念されております。

こうした中において、上半期における当社のチタン事業では、スポンジチタンをはじめとする販売価格の適正化や販売数量の拡大により業績が改善致しました。航空機用途を主体とする輸出向けスポンジチタンにおきましては、為替が円安に推移したことも加わり、売上高は前年同期比52.6%増加致しました。また、一般産業用途を主体とする国内向けスポンジチタンの売上高は同39.1%増加致しました。この結果、チタン事業の売上高は同47.6%増加の25,694百万円となりました。

上半期における高機能材料事業におきましては、半導体製造向けスパッタリングターゲット用高純度チタンの売上高が減少したこと等により、売上高は前年同期比41.7%減少の1,297百万円となりました。

以上の結果、2023年度上半期の全社売上高は、前年同期比37.5%増加の26,991百万円となりました。営業損益につきましては、高機能材料事業の減収があったものの、チタン事業での販売・生産数量の増加、販売価格の適正化に加えて、高操業度の維持による収益改善や円安の効果等もあって、営業利益3,939百万円（前年同期比95.3%増加）、経常利益5,349百万円（同84.1%増加）、当期純利益4,502百万円（同105.3%増加）となりました。

なお、2023年度の通期業績予想につきましては、売上高54,000百万円、営業利益7,100百万円、経常利益7,400百万円、当期純利益6,200百万円を予想しております。これらを勘

案いたしまして当期中間配当として1株当たり20円とさせていただきます。また、期末配当につきましては、配当予想を1株当たり20円と致しております。

当社を取巻く事業環境は好転しつつありますが、エネルギー資源をはじめ各種原材料価格の高騰も続いており、引き続き、合理化やコスト低減を継続してまいります。コロナ禍時期から回復し、成長段階に回帰したチタン需要を背景に、当社はチタン事業を中核として成長戦略を着実に推進するとともに、収益構造の強化が期待できる高機能材料事業を拡大し、成長力の強化に向けた事業ポートフォリオの変革を進めてまいります。また、環境をはじめとするサステナビリティに関連する諸課題に積極的に取り組んでおります。今般、当社の取組みが評価され、今年7月にESG投資のための株価指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。企業を取巻く環境が大きく変化中、持続可能な社会の実現に向けて能動的に取組むことにより企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き格段のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

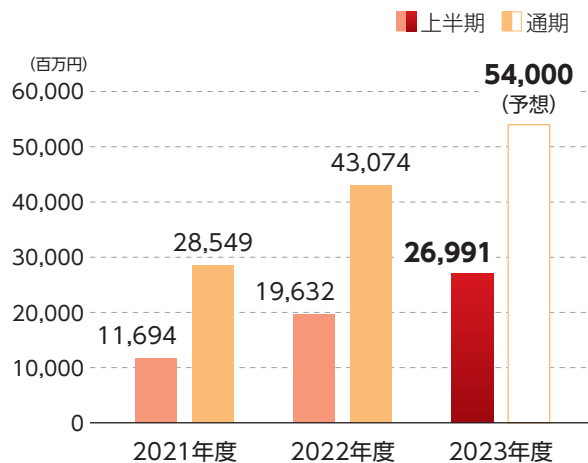


代表取締役社長

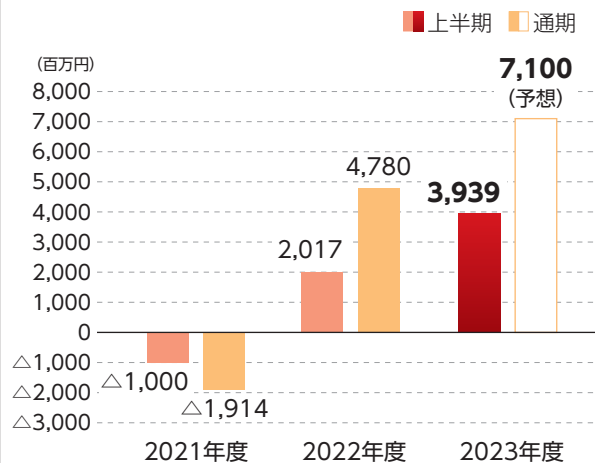
杉崎 康昭

# 業績ハイライト

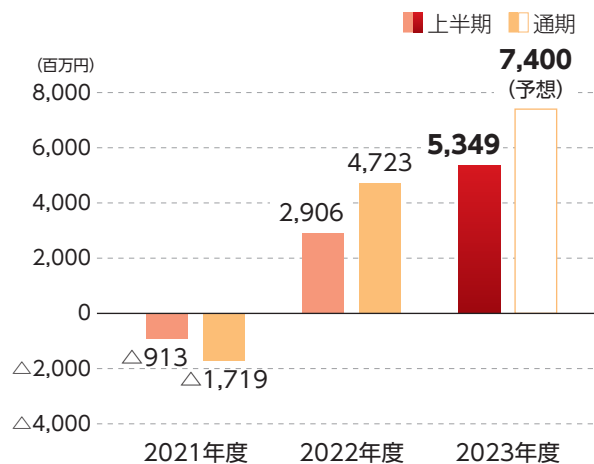
## 売上高



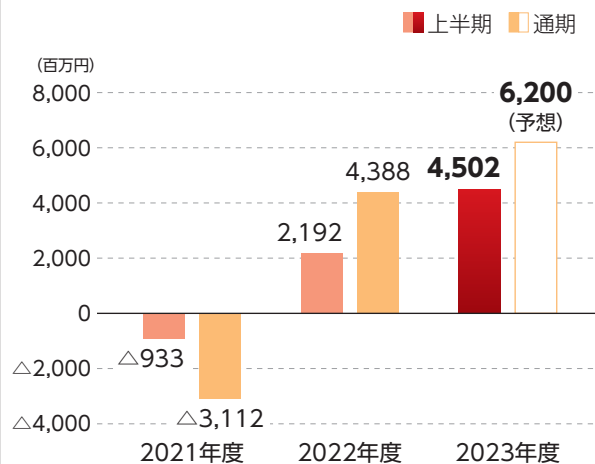
## 営業利益



## 経常利益



## 純利益



# 当社事業の紹介

当社は、高品質・高性能のスポンジチタン、チタンインゴットを製造・販売しております。また、高機能材料の製造・販売に加えて、新用途品の開発にも注力しています。当社の事業は次のとおりです。



## 当社事業の特徴

### チタン事業

独自技術の開発とノウハウの蓄積により、質・量ともにスポンジチタンのトップメーカーとしてお客様から絶大なる評価をいただいております。また、スポンジチタンを主原料としてチタンインゴットも製造・販売しております。

### 高機能材料事業

航空機部品や医療部品を製造するための原料として期待されるTILOP(タイロップ)、半導体・液晶用ターゲット材として使用される高純度チタン、包装材やリチウムイオン二次電池の次世代負極材として使用されるSiO等の製品を製造・販売しております。

## 1. テレビ番組「知られざるガリバー」で紹介されました

本年10月7日に放映されたテレビ東京系列「知られざるガリバー ～エクセレントカンパニーファイル～」にて、当社がチタン産業のリーディング・カンパニーとして取り上げられました。

当社製品である航空機の多くの部材に用いられるスポンジチタンや3Dプリンター用の球状チタン合金粉末などが製造工程とともに、当社の独自技術が番組にて紹介されました。

### 【番組で取り上げられた主な内容】

#### チタン事業

- 約70年前に、日本で初めてスポンジチタン製造の工業化に成功した当社は、創業当初より「独自に開発した製造技術」を武器に、「世界最大規模の生産能力」を有するスポンジチタンメーカーである。
- 当社は、永年にわたって航空機エンジンに用いられる「世界トップの品質」を維持しながら「国際競争力」を有するスポンジチタンを「安定供給」することで、世界中の顧客から大きな信頼を得ている。
- これらを可能とした当社の強みは前例のない特異なプロセス技術や操業技術をゼロから独自に開発する力である。

#### 高機能材料事業

- 新たな事業として取り組んでいる球状チタン合金粉末は、独自に獲得した製造技術やスポンジチタンメーカーならではの品質の一貫保証体制を強みとしており、今後、大きな成長が予想される積層造形(3Dプリンター)市場において医療や航空機をはじめとする幅広い分野での活用が期待される。



インタビューの一坪花音さんと  
杉崎社長



インタビューを受けるチタン製造  
部の課長

## 2. FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に初選定

本年7月に、世界的なESG(環境・社会・ガバナンス)投資のための株価指数[FTSE Blossom Japan Index]の構成銘柄に選定されました。

当社のESGに関する取り組みが評価され、今回、初めて選定されました。

今後も、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組むことにより企業価値の向上に努めてまいります。

FTSE Russell(FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに株式会社大阪チタニウムテクノロジーズが第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。  
FTSE Blossom Japan IndexはグローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。  
FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



**FTSE Blossom  
Japan Index**

# 2024年3月期上半期の業績

## ■ 貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	金 額
<b>資産の部</b>	
流動資産	55,439
現金及び預金	7,307
売掛金	23,230
商品及び製品	11,179
仕掛品	3,839
原材料及び貯蔵品	9,656
その他	229
貸倒引当金	△3
固定資産	35,255
有形固定資産	32,863
無形固定資産	1,100
投資その他の資産	1,291
資産合計	90,694
<b>負債の部</b>	
流動負債	23,866
固定負債	32,772
負債合計	56,638
<b>純資産の部</b>	
株主資本	34,056
資本金	8,739
資本剰余金	8,943
利益剰余金	16,384
自己株式	△10
純資産合計	34,056
負債純資産合計	90,694

## ■ 損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	26,991
売上総利益	6,383
営業利益	3,939
経常利益	5,349
税引前四半期純利益	5,322
四半期純利益	4,502

## ■ キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	△288
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	336
現金及び現金同等物の期首残高	6,971
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,307

## ■ 事業別売上高

(単位：百万円)

区 分	金 額	
チ タ ン 事 業	国 内	8,962
	輸 出	16,732
	計	25,694
高機能材料事業	1,297	
合 計	26,991	

(注)記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てにより表示しております。

## 会社の概要

(2023年9月30日現在)

創 業	1952年11月26日
資 本 金	87億3,962万円
従 業 員 数	676名 (注)上記の他、臨時従業員が59名(平均雇用人数)在籍しております。
事 業 所	本社・尼崎工場 兵庫県尼崎市東浜町1番地 岸和田製造所 大阪府岸和田市岸之浦町3番2 東京支社 東京都港区東新橋二丁目14番1号NBFコモディオ汐留2階
事 業 内 容	チタン事業 高機能材料事業

## 取締役の状況

(2023年9月30日現在)

代表取締役社長	杉崎 康昭
取 締 役	高橋 悟
取 締 役	川福 純司
取 締 役	荒池 忠男
取締役(監査等委員)	島本 信英
社外取締役(監査等委員)	飯島 奈絵
社外取締役(監査等委員)	山口 重久
社外取締役(監査等委員)	村田 雅詩

## 株式の状況

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	125,760,000株
発行済株式の総数	36,800,000株
株主数	22,886名

### 大株主

株 主 名	所有株式数 (千株)	所有株式数の割合 (%)
株式会社神戸製鋼所	5,100	13.86
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	3,372	9.17
日本製鉄株式会社	1,807	4.91
GOLDMAN,SACHS & CO.REG	967	2.63
住友商事株式会社	864	2.35
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATIONAL GMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENTS: CLIENT OMNI OM25	845	2.30
HAYAT	725	1.97
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	544	1.48
大和証券株式会社	460	1.25
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	426	1.16

(注)所有株式数の割合は、発行済株式の総数から自己株式数を除いて算出しております。

## トップポリシー

1. 私たちはお客様との長期的なパートナーシップを大切にし、お客様の発展に寄与することで私たちの成長を目指します。
2. 私たちは常に「安定品質」、「安定供給」、「安定価格」を目指し、そのための最大限の努力を払います。
3. 私たちは「安全」かつ「健全」な職場作りに力を注ぎ、全てのステークホルダーとの信頼関係を築くことで社会との共生を目指します。

## ブランドスローガン

**New Challenge Best Quality**

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 受付時間9:00～17:00(土日休日を除く)
公告の方法	電子公告 <a href="https://www.osaka-ti.co.jp/">https://www.osaka-ti.co.jp/</a>

### 【株式に関するお問い合わせ先について】

住所変更等のお届出・ご照会は、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記当社株主名簿管理人にお問い合わせください。

株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



この印刷物は、FSC®認証材及び管理原材料から作られたFSC®認証紙を使用しており、また、環境に配慮した植物油インキを使用しております。

